



第3回

各機能の紹介

～歴史資料展示室編～

今回は、Yuinásの歴史資料展示室についてご紹介します。
歴史資料展示室は、湯沢の歴史文化を「見る」「学ぶ」「体験する」ことができる施設です。歴史資料の展示鑑賞に加えて、図書館などと連携して皆さんが意欲的に学べる機会を提供します。

歴史資料展示室の機能紹介

機能
1

常設展示室

湯沢の自然や歴史、商都としての繁栄の姿、自然豊かな湯沢の暮らし今昔、佐竹南家にまつわる資料を展示します。湯沢で出土した石器や土器をはじめ、江戸時代の湯沢の絵図や佐竹南家御日記から見える暮らしなど、見て学べることを目指しています。



常設展示室 (イメージ)

11月22日(日)
オープン
予定

こんにちは！

「とろろくん」です！

縄文時代からかくれんぼしていて、
1980年に駒形町の東福寺の畑から見
つけた土偶だよ！

Yuinásには新種のホタルガの羽の
化石や、佐竹南家御日記、院内銀山
の古絵図、湯沢凧、もちろん、ぼく
もいるよ！

機能
2

企画展示室

さまざまな文化財、歴史資料を活用した企画展や講演会などのイベントを年3回行います。

また、地域のお祭りや年中行事、観光イベントに合わせた講演や講座、ワークショップなどを行い、来館者と湯沢の関わりが深まることを目指しています。

機能
3

湯沢ラボ (教育学習スペース)

定期的に講座・ワークショップを行います。また、小中学校などの団体見学時の学習スペースとして利用できるほか、無形民俗文化財などを動画で紹介します。隣接する図書館と連携して利用しやすい便利な空間となることを目指しています。

機能
4

展示施設のセンター拠点として

本施設をセンター拠点とし、既存の4施設(雄勝郡会議事堂記念館、郷土学習資料展示施設(ジオスタ☆ゆざわ)、院内銀山異人館、稲庭城)をサテライト拠点として周遊する仕組みを作り、それぞれの特徴を生かした事業を行います。

準備担当より

興味深い歴史と豊かな文化を持つ魅力的な街、湯沢。

関係者の皆様のご協力のもと、湯沢の歴史や文化を多くのお客様にお伝えできるよう、準備に励んでまいります。



最新情報はこちらから

